

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 20 日

神戸市長 宛

提出者

住所 神戸市北区道場塩田1957-11

氏名 ㈱河合塗研 代表取締役 河合将人

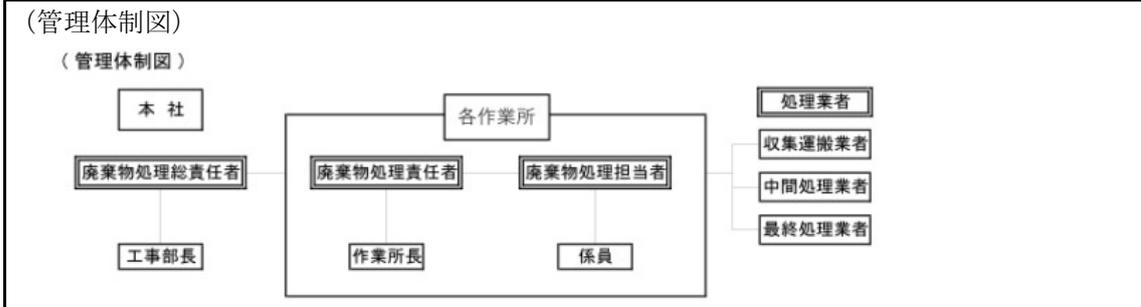
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 078-950-2430

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 河合塗研
事業場の所在地	神戸市北区道場塩田1957-11
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0611 一般土木建築区事業
②事業の規模	令和5年度 完成工事高 1,085百万
③従業員数	15名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	発生した産業廃棄物は、全て神戸市認定の中間処理、再生処理事業者に委託する

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	2010 建築系混合廃棄物（安定型のみ）（以下、含まれる産業廃棄物の
	排出量	3820 t	89 t
	（これまでに実施した取組） 各作業所の着工前会議の際に、施工の合理化も含め、産業廃棄物の発生量削減についての協議を行い、発生産業廃棄物に関しては、神戸市認定の再生処分場で処理しました。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	2010 建築系混合廃棄物（安定型のみ）（以下、含まれる産業廃棄物の
	排出量	100 t	89 t
	（今後実施する予定の取組） 継続し、産業廃棄物削減に努め、発生廃棄物は今後も神戸市認定の再生処分場で処理をする予定です。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類、木くず、金属くず、廃プラスチック類、ガラスくず等を確実に分別するよう、各作業所に指導を行い、実行させています。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記を継続で行う予定です。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	2010 建築系混合廃棄物 (安定型のみ) (以下 含まれる産業廃棄
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	2010 建築系混合廃棄物 (安定型のみ) (以下 含まれる産業廃棄
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	2010 建築系混合廃棄物 (安定型のみ) (以下 含まれる産業廃棄
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組) 該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	2010 建築系混合廃棄物 (安定型のみ) (以下 含まれる産業廃棄
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) 該当なし			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	2010 建築系混合廃棄物 (安定型のみ) (以下、含まれる産業廃棄物)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	2010 建築系混合廃棄物 (安定型のみ) (以下、含まれる産業廃棄物)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	2010 建築系混合廃棄物 (安定型のみ) (以下、含まれる産業廃棄物)
	全処理委託量	3820 t	89 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	89 t
	再生利用業者への処理委託量	3820 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 発生した産業廃棄物は、全て神戸市認定の中間処理、再生処理事業者に委託し、処理業者との委託契約及び再資源化の実施を原則としております。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1500 がれき類	2010 建築系廃棄物 (安定型のみ) (以下 含まれる産業廃棄
	全処理委託量	100 t	70 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	100 t	70 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現況を継続し、産業廃棄物量の削減に努めます。		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。